

キリストがすべて

第150号 2015年12月10日発行



CONTENTS	Page
巻頭言	1
特集	2
ACTS-ESの今	
キリスト教福祉学専攻	6
国際キリスト教学専攻	7
神学科・大学院	8
教会音楽	9
ニュース	10
卒業生からの手紙	12
支援会ニュース	13
Information	16

- ① 丸山忠孝先生最後の授業
- ② パイプオルガン奉獻20周年
- ③ ACTS-ES
- ④ シオン祭
- ⑤ 岩渕まことさんとGod Bless Youを歌おう
- ⑥ 海外語学研修

研究倫理が問われる時代に



神学部長 大和 昌平

昨今世間を騒がせた理化学研究所における研究不正

事件は、巨額の研究費と国際的名声をもたらされる研究者の世界に潜む危うさを露呈することになりました。ネット上にあらゆる情報が溢れている現在、学生のレポート作成においても、他人の情報をコピーしたり、それをつなぎ合わせて自作のごとく装ってみたりという誘惑は身近にあります。しかし、他人のものをコピーすることは「盗用」であり、他人の情報を自作に見せかけることは「偽造・改竄」という不正行為です。実際には無いことを事実であるかのごとく書けば、「捏造」になります。「盗用」、「偽造・改竄」、「捏造」。これらが研究における主な不正行為です。

この秋、本学が研究倫理セミナーの講師として招いた山崎茂明氏(愛知淑徳大学教授)は、研究における不正行為を「あつてはならないこと」としてしまふのではなく、誰でもが罹患しうる疾病として捉えるべきだと語られました。成果主義や

市場競争に晒される研究者たちを、いかにこの疾病から予防するか、また罹患した研究者をいかに回復させるかが大切だ。だから、不正行為ではなくミスコンダクトと呼びたいと提唱され、とても考えさせられました。

というのは、研究倫理に限らず、この社会に明確な倫理基準があるわけではないのに、一旦不正行為が広く知られてしまうと、そこに存在することさえ許されない社会的制裁を受ける現実があるからです。この度の理研においても痛ましい事態を招きました。

すべての人は罪人なのだから、不正はあるものと前提し、研究者は等しく厳しいチェックを受けるべきです。そして、不正が明らかになった時は、本人が不正を認めるならば、何等かの処分の上、やり直せる道を作らねばなりません。すなわち、研究者すべてへの厳しさと、悔い改めた研究者が赦されて再起する道を用意する寛容さが求められます。神の慈しみと厳しさに私たちが生きうる事ができるように、お祈りください。



ACTS-ES

Asian Christian Theological Studies
for English Speakers

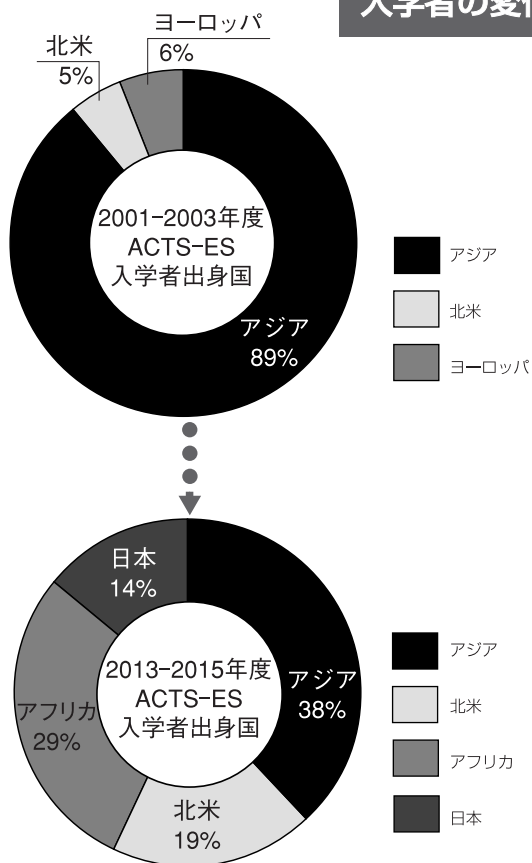


英語で学位(学士)を取得するコースであるアジア神学コース(ACTS-ES)が2001年に始まり、来年2016年には15年を迎えます。近年、日本ではグローバル化推進のために英語で学位を取得するコースを設置する大学が増えてきました。また、文部科学省では「留学生30万人計画」として2020年までに国内の留学生30万人をめざして、グローバル化推進に関する補助金を設置するなど、環境整備を進めています。

ACTS-ESは、日本では立命館アジア太平洋大学に次ぐ二番目に設置された英語で学位を取るコースで、「日本と母国

の架け橋となる人材を育てる」というコンセプトで始まりました。しかし、近年は日本社会のグローバル化の影響を受け、日本在住の外国人学生や英語で教育を受けている日本人学生の入学も目立つようになってきました。そのように、変化しつつあるACTS-ESの現状は、これからの日本の教会のあり方への方向性を示唆しています。キリストの教会は、本来グローバルです。今回の特集では、TCUにおける留学生との関わりから、日本の教会における外国人との関わり方についても何らかのヒントとなることを願っています。

入学者の変化



入学者の変化

当初は、本コースの名称にもあるとおりアジアの学生を主たる対象としていましたが、2004年度にジンバブエ人学生がアフリカ出身学生として初めて入学して以降、カメルーン、ナイジェリア、ケニア、ウガンダ等のアフリカ諸国から学生が入学するようになりました。また、近年では、日本国内在住の外国人学生やインターナショナルスクール出身の日本人学生も入学し、多彩な文化的背景が入り混じったコースになっています。本コースのあり方は、グローバル化する世界を映し出しています。

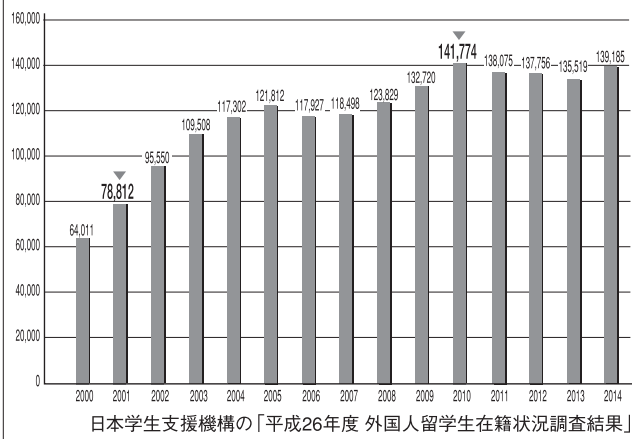
ACTS-ESとは

正式名称
Asian Christian
Theological Studies
for English
Speakers

アジア神学コース

2001年度に本学神学部神学科に設置された、すべての授業を英語で提供し学士の学位を授与するコース。入学定員5名。当初の目的は、「英語と日本語のバイリンガルで、共に生活し、学んだ人々のネットワークをアジアのキリスト教界に形成すること」。また、発展途上国の留学生のために「ACTS-ESの特別奨学金」を設け、授業料・寮費のすべてを含めた費用を対象となる学生に給付しています。

日本における留学生数の推移



進む日本の大学のグローバル化の中で

日本学生支援機構の「平成26年度 外国人留学生在籍状況調査結果」を見ると、日本で学ぶ留学生の数は東日本大震災前の2010年度まで上昇を続け14万人を超えましたが、震災後に再び13万人台に戻ってしまい「2020年までに留学生を30万人」という目標にはまだまだ遠く状況です。しかし、ACTS-ESが始まった2001年度は7万8千人であったことを考えると、現在は2倍近くまで留学生が増加しています。文科省はスーパーグローバル大学として37校を設定するなど、留学

生を増やす施策を打ち出しています。一方、TCUにおいては、毎年秋学期に短期留学プログラム「East Asia Institute (EAI)」の留学生を北米の協定大学から迎えており、今年度は17名の留学生がTCUキャンパスで学び寮生活をともにしています。また、ACTS-ESやEAIだけではなく、日本語で学んでいる韓国・中国などからの留学生も多数在籍しています。このように、本学もグローバル化はかなり進んでいるといえますが、ただ留学生の割合が高いというだけではありません。これほど少人数ですべてのコースの学生が同じ寮で生活し、密接に関わりあつてキャンパスライフを過ごすという環境は、グローバル化が進む日本の大学の中にあつても非常に珍しい環境です。



授業「History of Japanese Arts and Aesthetics」での茶室体験

新入生の紹介 | 2015年度秋入学をしたACTS-ES新入生を紹介します。



Kudi Chhachhai
(インド)

I have a vision to serve God as a teacher. So with the education from TCU I will gain more knowledge and it will help me in my preparation.

教師として神さまに仕えるというビジョンに向けて、TCUの学びを通して知識を得て将来に備えたいと思っています。



Emalada Diengdoh
(インド)

At TCU, I want to take courses that will provide me with life lesson and I hope to have an exposure that will broaden my mind.

TCUでは、人生の教訓となるような学びをし、私の考え方を広げてくれるような経験をしたいです。



Sora Higashimori
(日本)

In the future I am planning to become a pastor or missionary overseas.

将来は牧師か宣教師を目指しています。



Yu Ishihara
(日本/アメリカ)

I want to work with the church and different peace organizations in the future. I just pray that God will use me in the best way possible.

将来は教会や平和団体が働きたいです。神様が最も良い方法で私を用いてくださるように祈っています。



Tsuguru Kagiwada
(日本/アメリカ)

My vision for my future is to be a church planter and give glory to God where He is not glorified. I want to study theology at TCU and I hope to experience God's love and guidance.

将来、開拓伝道者として神様の栄光を現すために、TCUで神学を学び、神の愛と導きを経験したいです。



Shadreck Kudzanai Musarurwa
(ジンバブエ)

I came to TCU to expand my understanding of the Bible through the study of theology so that I can better serve in the church at home and in Japan.

神学の学びを通して聖書の理解を高め、母国と日本の教会に仕えたいと願ってTCUに来ました。



Georgina Takundwa
(ジンバブエ)

My vision for the future is to continue serving as a missionary wherever God places me. By studying at TCU, I hope to be equipped to be relevant to those that I will meet in future ministry.

TCU卒業後も引き続き宣教師として奉仕したいです。TCUでの学びが将来の働きの良い備えとなるよう願っています。



Eli Harrison Woods
(アメリカ)

My motivation was, and is still simple. I feel God calling me to Japan. So here I am.

日本に来た理由は昔も今も単純明快です。神様が私を日本へ招いておられると感じ、それに応えて今ここにいます。

留学生とつむじ

本学では、日本人学生4人に対して留学生1人、秋学期は短期留学生を迎えることから3人に1人が留学生という環境になります。そのため、あらゆる場面で日英のバイリンガルの対応が必要になります。留学生とともに過ごすキャンパスライフの様子をご紹介します。

① チャペル

火曜日から金曜日まで毎日行われているチャペルでの礼拝では、すべての学生が心から礼拝を捧げられるように様々な取組を行っています。



同時通訳をする齊藤謙治くん(神学科1年)

学生や教員による同時通訳を行っている場合がありますが、多いですが、教員がバイリンガルで説教をするバイリンガルチャペル、英語だけの礼拝、ACTS-ES生がリードするACTS-ESチャペルなどを行っています。その他にも、バンドでの奏楽で賛美をするチャレンジチャペル、主にギターで奏楽を行うワークショップチャペルで

は、コンテンポラリーな賛美をバイリンガルで歌うことが増えています。

② 寮生活

寮では、生活に関わるすべての情報をすべての学生が知る必要がありますので、掲示物やアナウンスはバイリンガルで行われています。留学経験のある学生などが活躍しています。また、寮運営委員会に留学生が加わることも多いです。2015年度の男子寮運営委員会は、寮長が韓国人留学生であり、ACTS-ESの生も委員に含まれます。そのように、衣食住をもとにする寮内は最もグローバル化が進んでいるといえます。



男子寮運営委員会メンバー

実習教会の様子

留学生を受け入れてくださっている実習教会の先生に、どのように受け入れていかをインタビューしました。

① 教会では何か特別な対応をしていますか？
② 地域教会が外国人の方を受け入れる際に、何が必要だと思いますか？



保守バプテスト同盟
津田沼教会牧師

森 恵二先生

① 今の実習生のレベルは日本語もできますので、特に何もする必要はありません。礼拝後的高中生・学生の学びと交わりにも参加しています。以前、日本語が分からない留学生が来ていた時は個人的に通訳をつけたり、説教メモを渡したりしたこともありました。

② 言葉の問題が一番大きいですが、日本語をどの程度できるかによって対応は変わると思います。日本に住んでいる外国人であればある程度日本語が分かる人も多いと思いますので、できる範囲で対応をすれば良いと思います。また、最近の課題として大きいのは帰国者の対応です。海外で救われて日本の教会に初めて訪れる人はますます増えてくると思います。教会の中に、留学等の海外経験がある方がいれば励まされると思います。



日本長老教会
海浜幕張めぐみ教会牧師
廣橋 嘉信先生

① 礼拝説教原稿を時々英訳して渡しています。土地柄もあり、教会員の中に英語や韓国語が堪能な人がいますので、その方が翻訳してくれます。通訳は立っていません。ACTS-ES生には教会学校の奉仕をお願いしています。

② 私たちの教会では、国籍に関係なく、その人がどんな賜物を持っているかを発見する学びをし、奉仕の場を提案します。試しに1年間やってみて、という風に。そのようにして教会の働きに加わる喜びを感じてもらおうことが、国籍に関係なく大事だと思います。ACTS-ESの学生には自分の国の教会について話しをしてもらいます。そのことで他の教会員の視野が広がっていきます。私たちの教会は「日本の教会」ですが、「日本人の教会」ではないと考えています。

卒業生の活躍

ACTS-ESは、2015年9月現在で64名の卒業生を世界中に送り出しています。進路は日本での宣教、母国での宣教・学校教師、高等教育機関での学びなど、多岐にわたっています。



Lalma Sawma Buongpui
(インド 2006年卒業)

(Multisite Pastor, Tokyo Baptist Church)
After I received the calling for Gospel Ministry, I entered TCU to study theology. In addition to academic discipline I received from TCU, I also came to know many students who were preparing for fulltime ministry and laymen. Now I am serving as a pastor in Tokyo. By God's grace, I have been able to lead our church to launched 3 worship sites in and around Tokyo. I am truly blessed to be part of TCU's vision and testimony.

(東京バプテスト教会 マルチサイト担当牧師)
福音宣教への召しを受け、神学を学ぶためTCUに入学しました。TCUでは学術的な訓練を受けると共に、牧師や信徒として宣教に携わる準備をしている多くの学生と知り合いました。現在、私は東京で牧師として仕えています。神の恵みにより、これまでに東京の内外三箇所ですくしく礼拝を始めることができました。私はTCUのビジョンと証しの一部となれたことを本当に祝福に思います。



Ruth Bobbie Dewinta Karunia
(インドネシア 2007年卒業)

Mark Beling
(スリランカ 2008年卒業)

(Teachers, Wesley School, Indonesia)
Ruth and I (Mark) are working as teachers in a Christian international school in Indonesia. I teach Bible and English, while Ruth teaches Japanese. Many of our students are children of missionaries and providing them with a good education enables their parents to continue to serve God in this country. TCU has equipped us with theological, and inter cultural understanding that has been valuable in this area of ministry.

(インドネシア Wesley School 教師)
私(マーク)とルツはインドネシアのクリスチャンインターナショナルスクールで教師をしています。私が聖書と英語、ルツが日本語を教えています。生徒の両親の多くは宣教師なので、よい教育を提供することによって生徒の両親がこの国で主に仕え続けることができます。TCUで学んだ神学や異文化への理解は、現在の働きをするのにたいへん役に立っています。



Amazing Mtangadura
(ジンバブエ 2010年卒業)

(Pastor, Kadoma Baptist Church, Zimbabwe)
TCU trained me to be a relevant and effective communicator to both believers and non-believers in an ever changing world. My time in Japan helped me to develop networks that are helpful for my ministries. My family has learnt to trust in God even more and enjoy life regardless of the season we are in. All this has come as a benefit of being at TCU and I am grateful.

(ジンバブエ Kadoma Baptist Church 牧師)
TCUでは、変化し続ける世界においてキリスト者と未信者の両方と効果的にコミュニケーションを取ることができるように訓練されました。また、日本で学び働いたことで、今日の働きへの助けとなるネットワークを築くことができ、どんな時も神に信頼して喜びをもって歩むことを学びました。TCUで学ぶことができ感謝しています。



今年度の新入留学生と短期留学生

グローバル化する社会とTCUの使命

日本の教会の教勢に詳しい本学日本宣教師サーチの柴田初男研究員は、来年度神戸で行われる日本伝道会議の分科会「ディアスポラ宣教」のテーマの一つとして、在日外国人教会の実態を調べています。柴田氏によると、日本人教会の会堂で行われている外

国人礼拝であればある程度実態を掴むことができるが、外国人だけで礼拝を行っている教会については実態が掴みづらいとのこと。特に、ブラジル人、フィリピン人、インドネシア人など、南米やアジアの人たちの教会については実態把握に難しさを覚えています。また、津田沼教会の森先生のご指摘にもますます増えていくと考えられます。

地域教会におけるグローバル化への対応は、地域によってさまざまに必要があり、TCUも教会と協働して課題解決のために何かしらの貢献ができるかもしれません。

そして、教会と社会に仕える働き人を養成する本学は、違いを乗り越えるキリスト者の交わりの豊かさ、キリストの体としての一致とがなされていく神学大学となることができます。求められていくでしょう。そして、そのような交わりを経験した献身者こそ真のグローバル人材であり、そのような献身者を教会と社会に派遣することが、今の時代にTCUが担っている使命の一つであると考えています。

(編集部)

夏期休暇中に2～4年生の介護実習が各福祉施設で行われました。また、教会と福祉をつなぐケアチャーチセミナー、中高生対象の「岩渕まことさんとGod Bless Youを歌おう!」などのイベントも行われました。

第5回 ケアチャーチセミナー報告

キリスト教福祉学専攻准教授 井上 貴詞



7月20日第5回ケアチャーチセミナーを開催しました。今回は、「教会を地域にひらこう!」ケアカフェのすすめ」をキャッチフレーズに主講師として、横山聖司先生(基督聖協団目黒教会牧師)をお招きしました。プログラムとしては、本学の片岡政子准教授が認知症についてぎゅつとエッセンスを凝縮したミニ講義、地域にひらかれたカフェとして「コーヒーなかま」の実践をしている横山牧師の講演、最近の国の認知症ケア政策の動向と会堂を提供して「オレンジカフェ(認知症カフェ)」を実施している教会の紹介を井上がお話させていただきました。



主講演者の横山牧師は、地域の中で民生委員やPTA会長、自治会長を長年担ってこられ、街を歩けば「牧師さん」ではなく、「会長さん」の呼称で呼ばれるそうです。教会が地域社会に居場所を作り、福祉を通して信頼され、愛の実践をしている取組みから参加者は大いなる啓発とチャレンジを受けることができました。

岩渕まことさんとGod Bless You!を歌おう

9月19日、東京・練馬にある社会福祉法人キングス・ガーデン東京・特別養護老人ホーム練馬キングス・ガーデンで「岩渕まことさんとGod Bless Youを歌おう!」を行いました。(共催・練馬キングス・ガーデン、後援・特定非営利活動法人ホサナ精神障害者グループホームホサナホーム)

クリスチャン・ミュージシャンである岩渕まことさんは、本学非常勤教員でもありギターレッスンを担当しています。その岩渕さんとキングス・ガーデンのコンサートと一緒に歌おう、と中高生・若い世代を募ったところ、中高大学生を含む10名が集まりご利用者の皆様の前で岩渕さんと一緒に賛美をしました。これからも自然な形で福祉現場を見ることができる企画を続けていきたいと願っています。



介護実習報告

また、実習当初は利用者さんが静かに並んでいっせいに食事をしている姿を見て、暗いイメージをもっていました。しかし、実際に利用者さんとお話しをすると、そのイメージは変わっていききました。積極的に話しかけ関わることで自分の介護へ取り組み姿勢も変わっていききました。先入観を捨て、また、失敗を恐れずに学びを続けていきたいです。

私は、夏期休暇中の2週間、「社会福祉法人清明会 特別養護老人ホームはなみずき」にて介護実習を行いました。私にとってははじめての介護実習で、戸惑うことも多かったのですが、とても貴重な経験をしました。例えば、食事介助の際、時間内に食事を終わらせなければいけないのに、ご利用者がなかなか食べてくれないことがありました。しかし、職員の方が介助すると、時間内に、しかも喜んで食べています。相手を尊重しつつ仕事としての責任も果たすためには、確かなスキルが必要であることを痛感しました。



先入観を捨てる
ことの大切さ

キリスト教福祉学専攻2年
長谷部 将希

秋学期の3ヶ月間オーストラリアのアデレードで2年生の必修科目である海外語学研修が行われました。また、姉妹校のバイオラ大学にTCUから1名の学生が短期留学し、北米の協定校から17名の短期留学生をTCUキャンパスに迎えました。

海外語学
研修

伝えられることの大切さ

国際キリスト教学専攻2年

川上 栄輝



8月下旬から11月中旬にかけての約三ヶ月間、オーストラリアのアデレードでの海外語学研修に行ってきました。

私がこの三ヶ月間で一番強く感じた事は、『気持ち伝えられることの大切さ』です。

オーストラリアの様々な経験の中で私が一番心に残っていることは、感情の共有ができないということだと思います。英語力が足りないために、今なぜ笑っているのか、なぜ泣いているのか、怒っているのかということが分からないことが、初めの頃は多々ありました。言語の違いと、言語の壁乗り越えることの難しさを深く思い知らされました。しかし、それと同時に母国語で当たり前のように笑い、泣き、何でも伝えることができるということの素晴らしさも分かりました。

正直、この三ヶ月を終えて、その問題を完璧に乗り越えることはできませんでしたが、この経験は間違いなくこれからの自信につながります。以前は向き合ってもしななかった壁に、今はしっかりと挑戦できているということに感謝しています。



大学
留学
レポート
短期報告

多くの人々を繋ぐ人に

国際キリスト教学専攻3年

佐味 愛喜子



私もこの秋学期、アメリカにあるクリスチャン大学のひとつ、バイオラ大学で留学する機会が与えられました。ネイティブスピーカーに混じって受ける授業はとても楽しく、刺激的です。授業では自主性が高く評価され、積極的に学生が発言し、ディスカッションも多く導入されています。授業のスピードは早いです。友人や先生方に支えられながら、楽しんで勉学に取り組んでいます。

私がこの短期留学中に目標としていることは二つあります。異文化での学びを通して見聞を広め後学に活かすことと、日本のことをより多くの人々に知ってもらうことです。バイオラ大学には宣教や異文化に対して心を開かれた人が多く、日本のために覚えて祈ってくださいている方々もたくさんいます。私が異文化を学ぶ意義は、日本をキリストによって多くの人々と繋ぐことです。ここアメリカの地で、その実践ができていることにとても感謝しています。



学生
アドバイザ
レポート

よき友・アドバイザーとして

国際キリスト教学専攻4年

西岡 牧葉



留学生アドバイザーの実際の活動としては、日用品の調達のお手伝い、アレルギーの人への食堂での説明と通訳、体調不良者の対応、日本人との交流のためにサークルへの参加を促し、イベント情報の連絡などを

を行っています。月一回、日本人同室者と食事をして、サポート体制を築いています。毎週金曜日のお昼はアドバイザー全体でミーティングを持ち留学生の為に祈る時を持っています。11月には留学生と日本人学生の交流イベント「Game Night」というゲーム大会を開催しました。TCUウェブサイトの学生ブログにその様子を載せたので良かったらご覧下さい。

留学生のアドバイザーをしていると、異国での生活がいかに大変かを教えられます。同時に旅人・寄留者・弱い立場にいる者の良き隣人になるようにと語る主の言葉が心に残ります。一人一人違う彼らの良き友・アドバイザーとなる難しさもあります。彼らの友となる事で多くの祝福をいただいています。



夏期休暇中に大学院1年次生の教会インターンが各地の教会等で行われました。また、教会教職特別セミナーが秋学期も行われ、米内宏明先生が講演をしてくださいました。また、今号に報告できませんが、帰国者ミニストリーに携わるJCFNの岡田氏の講演も予定しています

教会教職特別セミナー

米内宏明先生を迎えて

大学院神学研究科委員長

山口 陽一

9月7日(月)、東日本大震災被災者の復興支援を続ける米内宏明牧師を迎え、「見上げる蒼穹」被災地から見える教会の姿」と題して教会教職特別セミナーを行いました。親の死に直面した子どもたちを前に、「教会さん何もしないの?」と問われ、始めた子どもも支援の空(ソラ)は、教会の垣根を越えた働きです(詳しくは、米内宏明『見上げる空』いのちのことば社)。

米内牧師は、死に直面した人々との出会いを通して死生観・福音理解・教会とは何かを問われ、藤木正三牧師の「十字架の真の意味は寄り添い」とのことばに共感し、4年目となりようやく親の死を話し始めた子どもたちに寄り添いながら、彼らこそがこれからの世界のための良い働き人になると期待を膨らませておられました。専門分野を越えて共に働くこと、そのためのリベラルアーツ教育の必要にも言及され、本学のめざすところを具体的に示される思いでした。

教会教職特別セミナーでは、TCUテンプレート・プロジェクトとも連携して来年も被災地からの声を聴き続けます。学園ボランティアセンターからの派遣も継続されており、日本宣教リサーチでは「震災と信仰調査」プロジェクトも実施中です。本学としても「被災地から見える教会の姿」を追い続けたいと思います。米内宏明牧師は本学卒業生、国分寺バプテスト教会牧師、日本バプテスト教会連合理事長、当日の参加者は28名でした。

教会インターン報告



チャプレン研修で学んだこと

大学院神学研究科
教会教職者コース1年

山守 謙

2015年、夏、沖縄はオリブ山病院、東京築地は聖路加国際病院、それぞれの地で私は病院チャプレンとしての研修を受けた。そこで、明日生きられるのか分からない、また生きるかどうか迷っている人たちを目の前にして、私は今まで培ってきたものが役に立たず丸裸にされた。牧師を目指す神学生として、教会でのメッセージの機会も増え、キリストの愛を講壇から語るようになったのに、いざ一人の弱り果てたましいを目の前にすると、愛の実践どころかその場から逃げたくなるような自分の存在に気づかされたのだ。

私は、今までの神学生生活を通して、総合職としての牧師像をはるか高いところまで積み上げてきた。しかし、今回その多くは付属品でしかないと思わされた。大切なことは多くない。主に従う中で、目の前に与えられるひとりのたましいの奥深くから聞こえる叫びに聞き、その者と心から共に喜び、共に泣く。それだけでよいのだ。そのようでありたい。

丸山忠孝先生の 最後の講義



「神学・教会特殊研究Ⅴ(宗教改革史)」の授業最終日にて

11月19日丸山忠孝先生
チャペル説教を終えて

TCU初代学長の丸山忠孝先生は、毎年秋学期に米国から集中講義に来てくださいましたが、今年度が最後の出講でした。本学での講義の後は沖縄地区TCU支援会主催の学園デーでご奉仕され、11月21日にご著書の出版記念講演会『カルヴァンの宗教改革における神のことばと教会』を都内で行い帰国されました。これまでの尊いご奉仕と大きな功績に心から感謝いたします。

今年はパイプオルガン奉献20周年の節目の年であり、10月29日の創立記念礼拝は「パイプオルガン奉献20周年記念」として行われました。また、夏期教会音楽講習会は今年も大盛況で、猛暑の中にもかかわらず皆さん熱心に参加されました。

賛美を補助する道具として

（オルガン奉献20周年を記念して）

学長 小林 高德

日々のチャペルは、TCUのハート（心）です、と学生たちに伝えてきました。それは、私たちキリスト者の活動すべての究極的な目的が神の栄光にあるからです。

その時の感動を今でも忘れることはできません。1995年4月に本学に赴任した際に、SOLI DEO GLORIA 1995と金文字で書かれたパイプオルガンが目飛び込んできました。その奏楽に合わせて、心から主を賛美する醍醐味を味わいました。それから多くの年月を経た今も、変わらない温かく力強い響きで、日々のチャペルで神への賛美を支え、導いています。今年の創立記念礼拝（10月29日）では、製作者のマルク・ガルニエ氏ご夫妻をお招きし、宇内千春先生の奏楽で設置20周年を記念しました。

オルガンは、時に、「呼吸する楽器」と言われます。寒冷のヨーロッパの教会堂から、湿度の高い夏を持つ日本の気候への適応は、フランス北東部生まれの本オルガンにとっても大変なことだったでしょう。その維持と運用のためには多くの努力がはらわれました。特筆すべきは、著名な奏楽者ばかりでなく、日毎のチャペル、数々のコンサート、日々のレッスンなどで多くの先生や学生たちによって息（空気）が吹き込まれてきた点です。ガルニエ・オルガンはまさに、会衆が神をほめたたえるための生きた楽器となっています。本学のすべての活動の頂点である神礼拝に、なくてはならない存在として。



『賜物』夏期教会音楽講習会報告

教会音楽講師 内藤 真奈

今年も猛暑に見舞われた7月23日〜25日、『賜物』というテーマで第44回夏期教会音楽講習会が開催されました。今回は、大竹海二先生が「神の御業が現れる」と題して開会礼拝説教を、大和昌平学部長が「聖書が教える賜物とは」と題して主題講演を、また、昨年に続き、ランドル・シヨート本学教授が「ヘンデル《メサイア》第二部〜音楽に表されている福音」と題して講演してください、それぞれ大変好評でした。そして、初の試みとして行われたアンサンブル。それぞれの賜物を分かち合い、それらを用いて主を賛美する、ということでも5種類のグループに分かれて演習が行われ、ぜひ来年も！という声をいただきました。各実技レッスン、合唱では、講師の先生方の熱いご指導を受けながら、受講生の方々が熱心に学ばれ、賜物が磨かれたこと、また、会全体を通して良き交わりの時となったことを主に感謝いたします。講習会の内容詳細は、2016年2月発行予定の『礼拝・音楽研究』第65号に掲載されます。ぜひお読みください。来年はどうぞ講習会にご参加ください。また、奉仕者の方々を派遣してください。お待ちしています！（『礼拝・音楽研究』のお問い合わせは、本学教会音楽アカデミーまで。）



教会音楽コラム

TCI オルガン物語 その5

オルガン設置から20年。その間にオルガンは2度大きな手術を受けた。まずは10年目の2005年。オーバーホールのためにオルガン内部を開けたところ、そこにはカビや小さな虫の死骸がいくつもあった。それらを丁寧に除去。それから5年後、オルガン内部の湿度を一定に保つシステムが導入され、以来オルガンの状況は安定した状態が続いている。オルガンは、日々の礼拝やレッスンで使われるほか、「夏期教会音楽講習会」「パイプオルガンさん こんにちは」「クリスマスコンサート」「公開講座」とそれに伴う「昼下がりのコンサート」「学内コンサート」「卒業コンサート」「シオン祭コンサート」などで使用されている。このオルガンで育っていった卒業生も多く、それぞれの場所で活躍されている様子が耳に入ってくるのは、何とも嬉しい限りである。オルガンは、丁寧に扱っていけば、数百年は優に持つ楽器である。先人たちの熱い思い、製作者の細部にいたるまできちんと仕上げられた仕事、それらに心を留め、これからも丁寧に使い続けて行きたいと思う。このオルガンが、今後もオルガンに携わるすべての人たちに神様を想起させ、多くの慰めと励まし、元気を与える楽器として存在していきますように。また、多くの人たちから愛される楽器として益々成長していきますように、と心から願う者である。 おわり

東日本水災害ボランティア報告

ボランティアセンター・大学院2年 豊島 集司

今年の9月10日から11日にかけて茨城県、栃木県に集中豪雨がありました。ボランティアセンターでは、9月12日に栃木県鹿沼市ボランティアセンターを通じて、4名の学生、1名のTCU職員を鹿沼市の一家庭に派遣しました。被災直後で泥はき、家具の撤去、清掃をしました。9月19日には水海道シャローム教会を通じて8名の学生、1名のTCU職員を茨城県常総市にボランティア派遣しました。被災された教会員の家庭の清掃、泥はき、家具の撤去を行いました。9月21日には同じ被災された家庭のボランティアに4名の学生を派遣しました。9月22日にも2名の学生を同じ方の家庭に派遣しました。おもに床下の泥はき、清掃をしました。派遣された家庭の方が多くの励ましを受けていた様子でした。

学内では東日本水災害の募金を行い、短期間に12,736円集まりました。

今後も災害にあわれた方々を、祈りつつ支援していきたいと願っています。



新任教員紹介

秋学期から新しい専任教員として
デイビッド・サイツマ先生(助教)を
お迎えしました。



サイツマ先生は、宣教師のご両親の元、日本で育ち、日本のインターナショナルスクールを経て、米国カルヴァン神学校で修士(歴史神学)、プリンストン神学校で博士(キリスト教史)をそれぞれ取得。カルヴァン神学校で教鞭を執られた後、この秋学期からTCUでACTS-ESの授業を教えています。

ネパール救援募金のご報告

ネパール救援募金へのご協力をありがとうございました。合計金額は366,549円でした。お預かりした募金は、現地で活動している卒業生牧師に送金しました。

その一人であるリチャン・カルマチャリヤ氏からの報告概訳です。

「ご支援くださっている皆様、諸教会のお心遣いに心より感謝いたします。皆様の上に主の豊かな祝福がありますようお祈り申し上げます。活動の第一期は、食料や防水シート、TCUからのTシャツの配布、医療チームの派遣を行い、また、200人以上の人が集う伝道集会を行いました。

第二期は、雨季で蚊が多かったため防水シートと蚊帳を配布し、第三期は、トタン屋根と鉄パイプでできたドーム型の仮設シェルターを設置しました。このシェルターが使える6-9ヶ月間の内に、住居の課題が解決されるように願っています。



現在は、持続可能な救援に焦点をあて、崩壊した家や建物を復興させる建築資材、資材を購入する資金を提供しています。冬が近づいているので、特に貧困層の人々に、ブランケットや断熱材など暖をとるための物資の配布も計画しています。」

特別講義

「北米における性的少数者とキリスト教」



10月19日、米国ゴードンコンウェル神学校校長デニス・ホリンジャー先生による特別講義「北米における性的少数者とキリスト教」が行われました。米国では全州で同性婚が可能となる最高裁判決が出されるなど、同性愛を取り巻く環境は変わりつつあり、教会の対応も様々であることを紹介し、同性愛について聖書的解釈と牧会的配慮、真理と愛のバランスをもって受け止めることが大事であると語られました。

2015年度 夏期伝道報告

2015年度夏期伝道委員会 委員長 神学科4年 梅田 信

いつも祈りと支援を通して夏期伝道を支えて下さり感謝いたします。

今年度の夏期伝道はテーマ聖句としてマタイ7章7節を掲げ、「福音のチャレンジ」というテーマで活動しました。今年度も多数の教会から派遣応募があり、その中から7つの教会と東日本大震災の被災地枠として1つの教会に派遣をすることができました。活動中は怪我人などはなく、無事に最後まで終えることができました。今年度も最後まで夏期伝道の活動が無事に終えられたことは皆様のお祈りとご支援があったからだと思っております。そして何よりもすべての活動の内に主が共にいてくださったからであると思っております。

皆様の夏期伝道へのお祈りとご支援をこれからもお願いすると共に、2015年度の夏期伝道の報告とさせていただきます。



「TCU・TCTS同窓会総会」のご案内

日 2016年4月15日(金)午後7～9時

所 御茶の水キリストの教会

ゲスト Lyre(リラ) (TCU同窓生)

来年もTCUとTCTS共催で同窓会総会を開きます。

ぜひ、今から予定に入れて、ご参加ください。

TCU・TCTS同窓会役員一同

アチーブメント株式会社 青木社長講演会

10月29日創立記念行事の午後に、アチーブメント株式会社青木仁志社長の特別講演会が行われました。「社会を率いるクリスチャンのリーダーシップ」と題して、青木氏の生い立ちと信仰の証しを交えながら、教会のマネジメント、リーダーシップ、キャリア形成について講演をしてくださいました。

アチーブメント株式会社は「上質の追求」を企業理念に、良好な人間関係と高い成果を実現する目標達成の技術を伝え、高い評価を得ている人材教育コンサルティング会社です。創業者であり現在も取締役社長である青木氏は、人々に仕えること、楽しみながら一緒に社会・教会を作り上げていくことの魅力を語りました。普段とは違う切り口の講演に、学生教職員はみな聞き入っていました。



シオン祭報告

10月12日、秋晴れの天気の中、今年も恒例のシオン祭が行われました。地域住民の方、教会や学生の関係者などたくさんの方が来てくださり、学生の出店、公演、留学生パレードなどを楽しまれていました。最近の恒例となった地元の船穂中学校吹奏楽部の演奏、一番近い大学である東京電機大学の学生によるバンド演奏もありました。そのような多くの方々が集まる中で、神山みさ氏による特別賛美、福田真理先生(東京グレースシティチャーチ牧師)による講演を通して、聖書のメッセージが語られました。





卒業生からの手紙



神のことばと イエスのあかしとのゆえに

1987年東京基督神学校卒業
日本福音自由教会協議会/片柳福音自由教会牧師
NPO法人 片柳コイノニア理事長
精神障害者グループホームのぞみ代表

滝田 新二
(Takita Shinji)

28年前、国立キャンパスを卒業し、2000～10年まで同期会を上野のしゃぶしゃぶのお店で夫婦・子どもたちと一緒に持ちました。最近は皆忙しく中々会えないのが課題です。クラスメートの小林高德先生が学長に就任されたので、母校をいつも覚えて一層祈っています。

私は卒業後、関西の武庫之荘教会で6年、次に北九州の門司で6年開拓伝道に従事し、1999年より母教会の片柳教会の再建のために招聘を受け、17年目を迎えました。

当時はタラップン伝道という韓国の異端の働きで教会は分裂を経験し、深い亀裂と痛みの中にありました。再建は容易ではなく、また教会には多くの心の病の方々が出て、その対応に追われ、燃え尽きを体験しました。その後、JCGI(日本教会成長研修所)の研修に導かれ、障害者と共に生きる教会の新しいビジョン『地域に開かれた、誰でも安心できる教会』が与えられ、2005年に教会でNPO法人が設立され、精神障害者の社会復帰を支援するグループホームが作られました。これを契機に、老朽化した旧会堂に代わり、2008年に県道沿いの215坪の土地が与えられ新会堂建築を行い、約3億円の必要も奇跡的に備えられました。教会はすべてがリニューアルされました。

現在は、『ミッション・オアシス』という新しいビジョンに向かって、地域社会に影響のある教会の実現を目指しています。すべては建学の御言葉『神のことばとイエスのあかしとのゆえに』(黙示録1:9)であることを感謝しています。



筆者左端

からし種コミュニティサポート

2004年東京基督神学校卒業
2008年東京基督神学校卒業
からし種コミュニティサポート代表

鈴木 手以
(Suzuki Temote)

私は現在、東北で被災された方々の心の支援をさせて頂いています。04年にTCU、08年に東京基督神学校を卒業し、相模原市の教会で伝道・牧会の働きをさせて頂いてきました。小さいながらも地域に根ざし地域に開かれた教会形成に励み、未就学児から年配者まで幅広い世代の方々と福音を分かち合い豊かな交わりを頂いてきました。11年3月11日、後輩たちの卒業式のためTCUのチャペルにおりましたら、震度6弱の激しい揺れがあり、皆で中庭に避難し、震源が宮城福島沖だと聞きました。帰宅中、車のテレビで津波や火災の映像を見、東北の方々のことがとにかく心配でした。1ヶ月後、同じ相模原で働く仙台出身の牧師に同行して被災した教会を慰問させて頂き、現地の様子を肌で知り、自分たちがどんな支援が出来るか考えつつ戻りました。

その後、サマリタンズパースのボランティアに仲間達と参加を重ね、泥出し等の奉仕をし、被災された方々と接する中で自分が大きく用いられる経験をしました。私自身は津波に遭ってないし家も家族も失ってないわけですが、脳腫瘍等の困難を通らされたこともあって、被災された方々と心の深い所で繋がり合い、被災された方々が私に心を開いてお話しされ、表情が明るくなるのです。

以来、東北で働く思いを与えられ、そして13年4月から宮城県に住まいを移し、子ども達の成長支援の働きに関わり、現在は年配者なども含めた幅広い世代の心の支援に取り組み、ラジオや聖書カフェ等で福音を分かち合い、教会のなかった地に慰めの共同体が建てあげられることを求めて仲間達と働いています。津波から助かった一人ひとりが大切にされ希望をもって歩めるように、キリストの愛を携えて関わり続け、東北から愛と慰めが社会全体に拡がっていくことを願い活動しています。(詳細は、karashidane.jimdo.comまで)

支援会ニュース

TCU支援会 / 〒270-1347 千葉県印西市内野三丁目301-5
TEL:0476-46-1131 ● FAX:0476-46-1405 ● E-mail tcu@tci.ac.jp

第4回 関東地区 TCUのつどい

日本同盟基督教団
南柏聖書教会牧師

菊池 良二



10月30日御茶の水キリストの教会を会場に「第4回関東地区TCUのつどい」を開催しました。

講師は、小林高德学長と菊池実先生。贅沢にもダブル講演。菊池実先生からは、「イスラエルレポート」。ベイティン(ベテル)遺跡発掘調査の途中経過と現在の結果を映像で教えていただきました。考古学上素晴らしい発見があったことと、今後の大発見の可能性を伺い、聴衆は身を乗り出して聞きました。小林高德先生からは、「人の子」の御国を受け継ぐ者として『マタイ24章』25章の御言葉を深く掘り下げて語ってくださいました。切迫した人の子の到来の中で、私達キリスト者はいかに生きるべきかを問われました。両先生のご講演はさながら神学校の授業のような充実した時でした。2名の学生(宮城献兄、D・マンディラ姉)の証から、神学に真摯に取り組んでおられる様子が伝わりました。支援をさせていただける恵みを共有できました。50名余りの参加者が3地区に分かれて皆で合わせて祈りの時を持つことも幸いでした。

「第2回 北海道地区 TCUの集い」の 感謝報告

日本同盟基督教団
伊達福音教会牧師

三浦 称



9月6日日本同盟基督教団・新札幌聖書教会を会場にお借りして「第2回北海道地区TCUの集い」を開催しました。講師に菊池実先生をお招きし「今日の聖書考古学と私たちの信仰」と題して講演をしていただき、大人だけで41名の方が参加して下さいました。

先生は、イスラエルでの発掘調査を終えて帰国したばかりということもあり、はじめに聖書考古学の最新状況をお話し下さり、それから発掘品の写真や2000年前に使用されていた実物のランプ、十字架の釘のレプリカなど視覚教材を用いながら、聖書の御言葉に秘められた神様の恵みと愛の深さを掘り起こして下さいました。今回は少しでも長く講演時間を確保するため、ティータムの時間を割愛しましたが、それでも「もっと聞きたい」と後ろ髪引かれつつ、質疑応答とTCUのアピールの時間をもつて閉会しました。北海道地区TCU支援会では、これからも支援の輪が北海道でも広がっていくことを願って地道に活動が続けながら、愛するTCUのために祈っています。

福岡・山口地区 学園デー報告

日本バプテスト連盟
篠栗キリスト教会牧師

伊藤 聡



去る10月12日にキリスト教福祉学専攻の井上貴詞准教授をお招きし、篠栗キリスト教会でTCU支援会福岡・山口地区の学園デーが行われました。午前の部は「超高齢化社会と教会」についての講演でしたが、認知症を抱えた方々へのケア、月一のおしゃべり会、電球の取り替えなど小さな教会から大規模教会までの過程で実践できるヒントが散りばめられていました。また午後の部は「見えるハンディと見えないハンディ」と題しての講演でした。発達障がいの研究は近年著しく進んでいて、その研究成果を教会で活かし、コミュニケーション障がい、いわゆる空気を読めないことへの理解を深めれば、教会の中の軋轢を未然に防ぐことができるかと語られました。これから「ほかよりも弱く見える部分がかえって必要」(1コリ12:12)との聖書の教えが東京基督教大学の学生と関係者たちによって徹底されてゆき、全国の諸教会で実践されていくことを祈ります。

TCU 支援会主催

シオン祭行事

「祈りのコンサート」

ご報告

関東地区支援会委員
天賀谷 美織
日本福音キリスト教会連合
西堀キリスト福音教会員

今年度は音楽ゲストにゴスペルバンド Metoxoi (メトコイ) (Vo: 田村のぞみ・Key: 浅倉由季 (TCU卒)・Bass: 下野恵理也) をお迎えしました。パワフルかつ表現豊かな演奏と澄み渡る力強い歌声が織りなすオリジナル曲には滅びるはずの者がイエス様の十字架の贖いにより救われ、復活の希望をもって生きる喜びと神様への感謝があふれており、浅倉氏の在学時を振り返つての証からは神様の深いご愛と氏を大切に支えてくださった方々の存在を感じました。また、市原福音キリスト教会牧師山田瑞穂師 (TCU・TCU卒)、(株)ライフワークス社長野田和裕氏 (TCU卒) から在学時から現在にいたるまでの証をいただきました。

支援会(後援会)に支えられ学んでいた者が現場に出て、良い時も悪い時も、お恵み豊かな神様の助けのうちに使命に生きる姿に励まされると同時に、在学中の学生たちのため、育成の働きをする大学のために祈る心と支援の思いを熱くさせられる時となりました。



『明日の世界宣教者育成募金』の感謝報告

2015年度(2015年4月～2016年3月)の『明日の世界宣教者育成募金』は、9月末までに723の支援者より、2,921万円のご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。TCU支援の輪を広げるために友人・知人にもご入会をお勧めいただければと願っています。新規、継続のご支援をよろしくお願い致します。

献金感謝報告

尊いご献金とご加禱、ご協力に、心から感謝と御礼を申し上げます。ここに2015年6月1日から2015年9月30日までの献金者のご芳名を感謝をもって報告致します。(敬称略)

大学献金

- Zampo Church / OMFザ・チャペルオブ・アムステルダム / TCU 第七期生同窓会 / TOKYO TYRANUS HALL / 愛知泉キリスト教会 / 愛のキリスト教会 / 朝霞聖書教会 / 麻布霞町教会 / 愛宕山教会 / 足立キリスト教会 / アライアンス・ファミリアリーキヤンブ / 安城中央キリスト教会 / 五十嵐キリスト教会 / 池戸キリスト教会 / 生駒めぐみ教会 / 石岡キリスト教会 / 石嶺バプテスマ教会 / 和泉福音教会 / 稲城聖書教会 / いのちの泉聖書教会 / 茨木聖書教会 / いわきキリスト教会 / 浦和福音自由教会 / 永福南キリスト教会 / 海老名シオンの丘教会 / 近江福音自由教会 / 岡山地区学園デー / 沖縄バプテスマ連盟ユースキャンプ / 沖縄リバイバルチャーチ / 桶川福音自由教会 / おゆみ野キリスト教会 / 春日部福音自由教会 / 交野キリスト教会 / 片柳福音自由教会 / 勝田台教会 / 金沢中央教会 / 匿名 / 株式会社 / ア / 上岡聖書教会 / 亀田キリスト教会 / 軽井沢キリスト教会 / 川越福音自由教会 / 岸和田聖書教会 / 衣笠中央キリスト教会 / 岐阜キリスト教会 / 希望が丘教会 / 清瀬グレースチャペル / 基督聖協団本部 / 久喜福音自由教会 / 国立キリスト教会 / クライス・コムニティ / 久里浜福音教会 / 久留米聖書教会 / グレース宣教会 / 恵泉キリスト教会 / みどり野チャペル / 気仙沼聖書バプテスマ教会 / 高校生聖書伝道協会 (S.O.B.) / 高知旭教会 / 有志 / 高知喜ひキリスト教会 / 鴻巣福音自由教会 / 国分寺バプテスマ教会 / 小倉中央教会 / 五香教会 / 児玉福音自由教会 / 佐倉王子台チャペル / 佐渡金井キリスト教会 / 三陽メディア株式会社 / 志賀キリスト教会 / 四国地区学園デー / 静岡めぐみ教会 / 渋谷小隊 / 子母口キリスト教会 / 下馬福音教会 / 招待キリスト教会 / 新鎌ヶ谷聖書教会 / 新札幌聖書教会 / 新松戸福音自由教会 / 菅生キリスト教会 / 杉戸キリスト教会 / 杉並教会 / ゼ・エバンゼリカル・アライアンス・ニッポン / 世田谷中央教会 / 千住キリスト教会 / 千間台キリスト教会 / 草加福音自由教会 / 高田ファミリアリーチャペル / 高槻福音自由教会 / 高松キリスト教会 / 高松シオン教会 / 館山教会 / 館山教会 / 教会学校ハレルヤ・キッズ / 館山教会 / 婦人会 / 玉川上水キリスト教会 / 玉の肌石鹸株式会社 / たまプラーザキリスト教会 / 筑波キリスト教会 / 津田沼教会 / 手打ち蕎麦亭なる堵 / 天竜キリスト福音教会 / 東京オンヌリビジョン教会 / 東京国際基督教教会 / 東京聖書学校 / 東御キリスト教会 / 東林聖書キリスト教会 / 所沢聖書教会 / 豊川中央キリスト教会 / 豊栄キリスト教会 / 豊橋ホサナキリスト教会 / 流山福音自由教会 / 名古屋西福音自由教会 / 名古屋福音自由教会 / 並木キリスト教会 / 新潟聖書教会 / 加茂福音キリスト教会 / 新潟福音キリスト教会 / 西堀キリスト福音教会 / 一宮山西キリスト教会 / 日本長老教会 / 日本同盟基督教団 / 二本松福音の家教会 / 練馬教会 / 野方ウエスレアンメソジスト教会 / のびとめキリスト教会 / 拜島バプテスマ教会 / ハイランドキリスト教会 / 波崎キリスト教会 / 蓮沼キリスト教会 / 鳩ヶ谷福音自由教会 / 浜田山キリスト教会 / 浜松中沢教会 / 東吾野キリスト教会 / 東大宮福音自由教会 / 東久留米泉教会 / 東広島めぐみ教会 / 東大和刈穂キリスト教会 / ひたち光教会 / 日立福音キリスト教会 / 福岡めぐみ教会 / 仏子キリスト教会 / 府中西原キリスト教会 / 古川教会 / 平和台教会 / ホーリネス弾圧記念同志会委員会 / 蛸池聖書教会 / 本郷台キリスト教会 / 松原聖書教会 / 馬場聖書教会 / 丸亀聖書教会 / みどり野キリスト教会 / 南柏聖書教会 / めぐみの丘チャペル / 八栗シオンキリスト教会 / やしおホールチャペル / 谷田部キリスト教会 / 八街福音キリスト教会 / 八千代聖書教会 / 大和キリスト教会 / カルバリーチャペル / 大和郡山めぐみ教会 / 山の上教会 / グレイス・チャペル / 横浜キリスト教会 / ゆりのきキリスト教会 / 横浜キリスト福音教会 / 横浜シオンキリスト教会 / 横浜白山道教会 / 横浜山手キリスト教

会/リビング・チャペル/レディントン 敏子
/蕨福音自由教会/Charles Simanjuntak/Nilkang. Clovis Mebinaj/Oiko Medina Bushuru Mataka/Rev. Jae Hoon Lee/徐有珍/相島功/青木俊介/青木稔/庭子/青島恒宣/赤江弘之/昭代/赤穂芳子/安黒拓人/浅井秀穂/朝岡満喜子/朝岡勝/安海和宣/由紀子/阿部伊作/新井竜治/安西愈/安藤博之/千恵/伊井洋子/匿名/池上王士/桃子/池田アイ/池田昌弘/池田雄一/詩保/石原美智子/井下由美/石山敏子/伊藤篤/亜紀/伊藤天雄/稲垣久和/伊能悠貴/井上和夫/米子/井上聡/直子/井上志乃/井上真詞/井上洋治/由枝/井原安祐/幸/今井一夫/入江喜久雄/直美/入江賛美/岩田順也/岩田三枝子/上野優佳子/内野雅之/稔子/宇内千晴/遠藤潔/禎子/大岩啓子/大内卓也/美樹/大久保宣満/大下由利子/大島久子/大嶋義隆/大杉至/太田雅恵/大高市子/大龍恵理也/和子/大竹一行/大手眞佐子/大野マリア/大橋秀夫/大森菜奈子/大森幹夫/岡由美子/岡崎修市/岡田雄/岡村又男/末子/岡森雅浩/ゆかり/小川正太郎/小川政弘/奥村喜樹/奥山礼子/小笹崇代/鬼塚弘通/啓子/小野幸信/小町継太/小町誠一/表川幹雄/鍵谷恵子/影山範文/片岡政子/加藤国廣/博子/加藤富男/金子寿子/金田奈穂子/鎌田早苗/上西恭子/川崎晴美/川島敬子/川島祥子/木内伸嘉/菊地潤子/菊池実/菊池結希/菊池良一/眞恵美/岸幸恵/北見ミチ/北村富彦/環/木下幸治/木藤光子/金和弘/宮本奈緒子/金蓮玉/倉沢正則/多美子/黒川知文/匿名/桑原淑行/賢賀英郎/小池宏明/紀子/國分正子/児玉智継/児玉光/照恵/児玉博之/喜代子/後藤ヨシ子/後藤玲子/後藤弘/小林清/小林高德/小林充尚/壽子/小林規子/小林美恵子/小林宮子/小林悠/匿名/小和田幸平/雑賀とし子/齊藤明夫/斎藤和己/斎藤潔/ますみ/崎山清/櫻井菊子/佐々木望/佐野みどり/佐羽内玲子/信太紀一/篠原基章/柴田美枝子/島田務/下川友也/田治夫/嶋田玲子/清水尚子/川生也/ヨリ/下田博文/城定千世子/白倉まり子

白垣千鶴子/匿名/菅谷敬子/菅原好江/杉谷乃百合/鈴木敏雄/薄佳志子/鈴木政則/鈴木光男/鈴木洋子/スズハ/フランクリン/関野祐一/妹尾弓子/妹山訓子/千田由美/仙浩二/大長寿恵/高瀬眞貴子/高取直子/高橋奈々美/高橋篤/高橋信希/高橋伸幸/田口倫子/竹内豊志/竹下悦子/竹本喜代子/多胡眞太郎/建部玲子/立山剛/田中恭子/棚橋ひとみ/谷井広樹/谷本栄治/澄江/谷本芳也/匿名/田村昭二/千葉秀悦/塚田眞理子/辻智恵/匿名/辻本文子/坪谷芳和/津村眞美子/寺田文男/登内規夫/時田敏彦/匿名/富岡昇/富所正史/外山節子/内藤眞奈/永井仁志/長石寛/永江尚久/桂子/中尾芳也/啓代/中川洋佑/麻祐/中島伸一/中島誠/中田昭子/長田清子/長友信子/中村貴美子/中村康昌/中村由夫/中谷さみ子/永山治孝/永山静恵/中山良男/並木公子/並木孝之/南村かおり/西操/西内学/西梅慎太郎/西村幸子/西村敬憲/麻利子/西山幸子/根本信子/野口忠子/野島工のり/SSON 聖美/野呂恵子/萩原孝一/蓮井智子/長谷部秀英/畑和雄/畑島照枝/花園文子/馬場志乃恵/馬場千晶/浜岡典子/林トヨ/林直樹/直美/早見友雄/美江/原弘慈/原豊人/千春/原裕昭/みはる/原田明美/万城栄治/久美/万城紘/啓子/東中喜彦/樋口道雄/日名信介/平川えり子/平川俊光/江美/平田卓也/平野武男/登美子/廣瀬薫/美穂子/フイリッブ/フォックス/スウェル/福原絹子/藤川弘子/藤崎秀雄/藤澤佑介/藤田恵子/藤田正/藤田直樹/藤原真規子/藤原美佐子/淵上英郎/フリシマン/ポール/古川弘幸/古林正語/許昌範/星山正一/英子/細谷潔/紀弥/本間邦/本馬信義/前田倫男/増井二夫/増淵正恵/松井小百合/松尾美代子/松田信/松永保智/松永優/順子/松原正幸/丸井勇/丸山園子/圓山友子/三浦称/聖子/三川京子/溝口捷支/和子/溝口昌樹/宮腰貞子/宮崎翠/宮村武夫/君代/宮本京子/宮脇星児/栄子/明長良/智恵/虫明英雄/匿名/虫明令子/村瀬俊夫/望月都/森恵子/森健/森川直子/森澤朋子/森田和子/森

田哲也/森田友朗/森田裕美子/森本文子/森本祥子/森本憲夫/豊子/森本信幸/麻子/森本英利/森安仁美/森山洋子/八木保夫/律子/矢口美和子/矢田信雄/和子/谷中清子/柳沢美和子/数田三保子/山内慎也/山内史奈/山岡勝次/山川暁/山口尚美/山口陽一/山口輝子/大和昌平/山本明子/山本和義/柳基男/吉敷晶彦/吉田雅尚/吉田満知子/吉永啓次/あや子/吉永初穂/吉持章/吉持日輪生/李相勇/李貞林/劉芽久美/若月誠/千鶴/和田郎/栄子/和智智絵

大学院設立献金

愛知泉キリスト教会/新船橋キリスト教会/津豊ヶ丘キリスト教会/豊栄キリスト教会/東大宮福音自由教会/みことば福音教会/新井竜治/岩田順也/宇内千晴/大塚史明/川島敬子/菊池結希/久米のぞみ/倉沢正則/多美子/小林高德/宮子/小和田幸平/齋藤弘司/櫻井菊子/笹川雅弘/篠原基章/高橋泰子/武田順児/田中幸子/中山良男/野島工のり/SSON 聖美/馬場千晶/早川佳枝/堀内亨祐/山口陽一/大和昌平

夏期伝道献金

TCU第七期生同窓会/旭川記念教会/渥美キリスト教会/活けるキリスト一麦教会/泉キリスト教会/市川北八ブテス教会/近江福音自由教会/柏福音自由教会/北赤羽キリスト教会/久遠基督教会/久留米ハイブル/エーション/湖北台教会/佐倉王子台チャペル/新浦安めぐみ教会/西武柳沢キリスト教会/千葉キリスト教会/チャペル献金/津田沼教会/等々力教会/ハイランド/キリスト教会/平和台恵教会/洋光台キリスト教会/赤坂啓子/匿名/伊藤天雄/大塚円/大橋修一/川島敬子/川元久美/菊池美/倉沢正則/多美子/小谷みや子/小林高德/宮子/信太紀二/篠原基章/高氏博史/匿名/中村康昌/藤田直樹/宮脇星児/栄子/森和亮/富喜子/森本憲夫/豊子/柳沢美和子/山口三治/山口陽一/山田信子/大和昌平

教会音楽献金

あらし野キリスト教会/夏期教会音楽講習会/柏キリスト教会/自由ヶ丘めぐみ教会/千葉栄光教会/筑波めぐみ教会/屋下がりのコンサート/誉田キリスト伝道所/みふみバプテテスト教会/八街栄光キリスト教会/匿名/宇内千晴/大高市子/川島敬子/川元久美/菊池実/君塚光治/倉沢正則/多美子/小林高德/宮子/篠原基章/高橋泰子/匿名/富所正史/内藤眞奈/早川佳枝/平野雅子/松永優/順子/溝口昌樹/匿名/山内史奈/山口陽一/大和昌平

教会教職者志望学生奨学金基金

佐渡金井キリスト教会/志賀キリスト教会/馬堀聖書教会/八千代聖書教会/矢作キリスト教会/朝岡満喜子/匿名/内山茂生/智佐江/宇内千晴/川島敬子/木内伸嘉/菊池実/菊池結希/倉沢正則/多美子/小林高德/宮子/笹川雅弘/信太紀二/篠原基章/杉山年彦/谷口精子/中川洋佑/麻祐/並木孝之/馬場千晶/早川佳枝/原田靖彦/裕子/久島奎玉/平野雅子/平原まさこ/溝口昌樹/三井平康/匿名/柳沢美和子/山口三治/山口陽一/大和昌平

留学生奨学金基金

佐倉王子台チャペル/志賀キリスト教会/徐有珍/阿部伊作/伊井洋子/伊藤天雄/宇内千晴/岡田雄/菅場千賀子/川島敬子/川島祥子/菊池実/菊池結希/倉沢正則/多美子/匿名/小林高德/小林宮子/信太紀二/篠原基章/田口倫子/内藤眞奈/平野雅子/藤田直樹/溝口昌樹/匿名/匿名/森恵子/森優子/森田哲也/柳沢美和子/山口三治/山口陽一/大和昌平

学校法人東京キリスト教学園
明日の世界宣教者育成募金
〇〇一〇一五五七五六四八

Information

所...会場 日...日時 講...講師 料...受講料
問...問い合わせ先 申...申し込み先

オープンキャンパス

オープンキャンパスが下記日程で行われます。是非ご参加下さい。宿泊をご希望の方は一泊まで無料で寮等に宿泊できます。また定期的に教会に通っている方で、全てのプログラムに参加された方に交通費の補助を差し上げます。

- 日** 1/23(土)、3/26(土)
内容 学部・学科説明、在学生によるTCU紹介、
キャンパスツアー、模擬授業、
学費・奨学金・入試ガイダンス、個別面談
申 本学ウェブサイトからお申込み下さい。
問 教務課入試担当(0476-46-1131)

FCC教会教職特別セミナー

テーマ 「震災と信仰調査報告会
～被災地から学ぶ日本宣教のあり方」

- 講** 柴田初男(国際宣教センター日本宣教リサーチ)
ヒューレット柳澤えり子
(アジアアクセスリサーチフェロー)
日 2月1日(月)13:00-15:30
所 国際宣教センターチャペル
料 一般 2,000円 支援会員 1,000円(当日入会可)
申込内容 ①氏名②電話③E-mail
④所属教団・教会名
申込締切 1月27日(水)
申 E-mail:fcc@tci.ac.jp
Fax:0476-31-5521

卒業・修了記念コンサート

- 日** 2月12日(金)午後7時-
所 チャペル
料 入場無料・申込不要
問 教務課(s-music@tci.ac.jp)

発行人:学長 小林高德
編集:東京基督教大学「大学報編集委員会」
270-1347 千葉県印西市内野三丁目301番5
TEL.0476-46-1131 FAX.0476-46-1405
URL www.tci.ac.jp
Facebook www.facebook.com/TokyoChristianUniversity

2015年度冬学期エクステンション

岡山エクステンション

- 「キリスト教福祉実践に求められるもの
～共に歩める人になるために～」
第9回「ミニストリーとしてのキリスト教福祉実践」
第10回「エイジズム、セクシュアリティ、ディメンシャ・ケア」
講 岡村直樹
日 2016年2月27日(土) 9:30-15:00
料 4,000円
所 日本同盟基督教団 西大寺キリスト教会(岡山)
申込締切 2月17日(水)

希望が丘エクステンション

- 「日本の宗教文化とキリスト教信仰」
第1回「生贄と贖罪」
第2回「無常と摂理」
第3回「祖先崇拜と造(つくり)主(ぬし)礼拝」
第4回「茶道と聖餐」
講 大和昌平
日 2016年3月5日、12日(土)10:00-15:00
料 8,000円
所 カンバーランド長老キリスト教会希望が丘教会
(神奈川)
申込締切 2月29日(月)

申込方法 電話・ファックス・Eメールのいずれかにて
(本学ウェブサイトからも可能です)

- 記載事項** ①氏名②住所③電話番号④所属教会
⑤受講講座名
問申 東京基督教大学 エクステンション係
〒270-1347 千葉県印西市内野3-301-5
電話:0476-46-1131 Fax:0476-46-1405
E-mail:extension@tci.ac.jp

春期卒業式

- 日** 3月11日(金)13:30-
所 チャペル
問 総務課(soumu@tci.ac.jp)

入学式

- 日** 4月5日(火)13:30-
所 チャペル
問 総務課(soumu@tci.ac.jp)